

土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

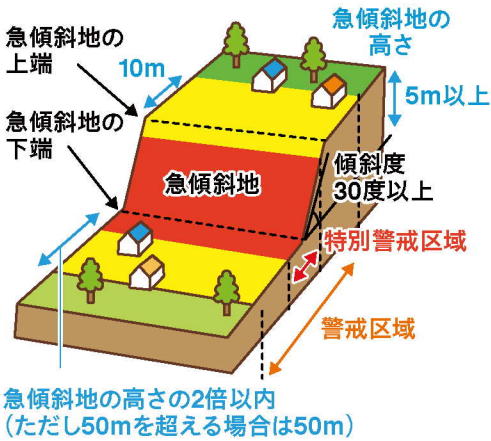
がけ崩れ等の土砂災害が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

がけ崩れ等の土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域で、特定の開発行為の制限、建築物の構造規制等が行われます。

急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)

斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然崩れ落ちる現象です。

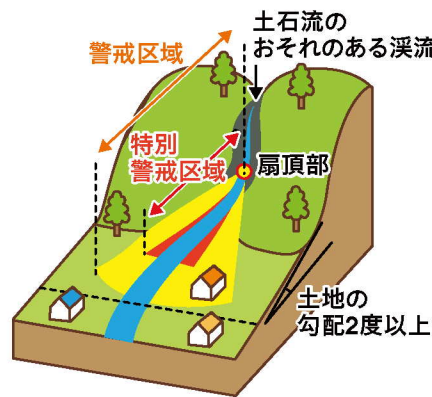


前兆現象

- がけに割れ目が見える
- がけから水が噴出する
- がけから小石がパラパラ落ちてくる

土石流

山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨等によって、一気に下流へと押し流される現象です。

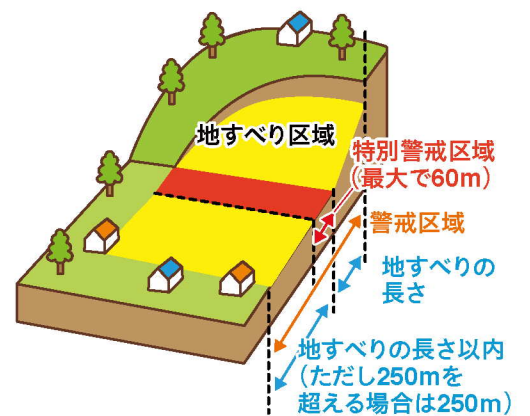


前兆現象

- 山鳴りがする
- 川の流が濁り、流木が混ざりはじめる
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる

地すべり

斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によって斜面下方に移動する現象です。



前兆現象

- 地面にひび割れができる
- 沢や井戸の水が濁る
- 斜面から水が噴き出す

土砂災害警戒情報【警戒レベル4相当情報】

土砂災害警戒情報は、大雨警報(土砂災害)の発表中に、土砂災害発生危険度が高まったとき、熊本県と熊本地方気象台が共同で発表する情報です。

土砂災害警戒情報は、町長が避難指示を発令する際の判断材料となる重要な情報です。土砂災害警戒情報が発表されたら、土砂災害に厳重に警戒し、すぐに避難してください。

また、土砂災害警戒情報が発表されていない場合でも、地形や地質の条件により土砂災害が発生するおそれがあります。その他の防災情報や土砂災害の前兆現象などにも十分注意し、身の危険を感じたらすぐに避難してください。

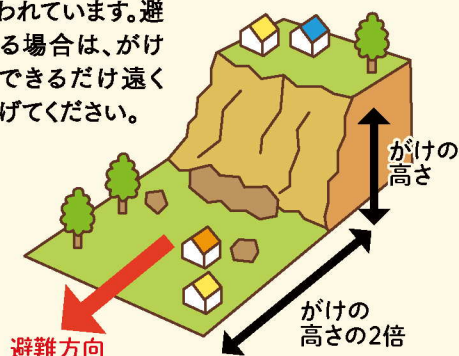


防災情報くまもと

避難のポイント(土砂災害)

がけ崩れのおそれがある場合

一般的に、がけ崩れの土砂は、地面が平らなところではがけの高さの2倍の距離までくるといわれています。避難する場合は、がけからできるだけ遠くに逃げてください。



土石流のおそれがある場合

渓流沿いの低い土地から離れてください。土石流のスピードはとて速いので、土石流を見たら、流れに直角の方向に逃げましょう。



屋外に避難する場合

避難する際は、土砂災害警戒区域等(イエローゾーン、レッドゾーン)をなるべく通らないようにしましょう。ハザードマップで区域を確認してください。

やむをえず屋外に避難できない場合

屋外に出ることがかえって危険な場合は、2階以上の斜面から離れた部屋で安全を確保してください。

雨がやんだ後も注意

これまで降った雨が土の中に残っています。雨がやんでも土砂災害が発生するおそれがあるので注意しましょう。